

B 個別学習（B 1）

主な学習活動

ローマ字で書かれた友達からのメッセージを、平仮名・カタカナ・漢字の文章にローマ字入力する。

1 本時のねらい

ローマ字入力の仕方を理解するとともに、ローマ字入力で簡単な単語や文章を書くことができる。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

電子黒板

書画カメラ

ファイル共有

3 参考にしてほしいポイント

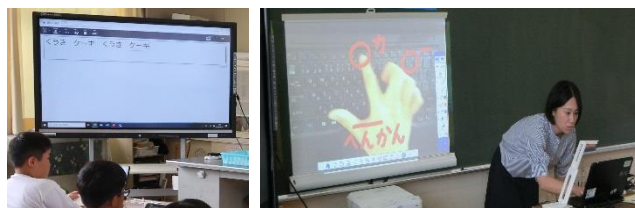
書画カメラとモニター、プロジェクターを使用してキーボードの手元を見せながら、ローマ字入力の学習をする。パワーポイントで作成したローマ字のフラッシュカードを、児童用タブレットに共有し、ローマ字の練習ができるようにする。

段階 場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
展開	ローマ字で書かれた友達からのメッセージを、平仮名・カタカナ・漢字の文章にローマ字入力する。	（電子黒板）入力する文字を提示する。 （プロジェクタ・書画カメラ）書画カメラで、キーボード操作する手元を写すことで、ローマ字入力の仕方を理解しやすくする。 （モニター・児童用タブレット） パワーポイントを使って、ローマ字の読みをフラッシュカードのように反復練習させることで、ローマ字の読みを定着させる。

書画カメラ

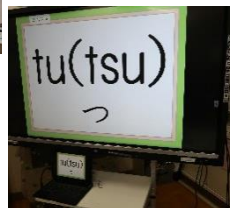
+

プロジェクタ



自分のペースで
練習できる！

手元が見えるから、
わかりやすい！

**4 活用効果**

実際にキーボードを打っている手元を見せながら指導することで、子どもたちが打つべきキーの位置を視覚的に理解することができた。また、児童用タブレットにローマ字練習用データを入れたことで、隙間時間を使って練習をしたり自分のペースでローマ字練習をしたりすることができ、ローマ字の読みの定着につながった。